

第1回 鶴崎神社フォトコンテスト【大賞】

岡山市箕島 木村正志氏 撮影



つるさき

平成十一年十月

秋祭り 神幸祭

入選者は左記の通り。

大賞

岡山市箕島 木村正志

入選

倉敷市高須賀 安原四郎

倉敷市高須賀 近藤節夫

倉敷市早高 佐藤豊行

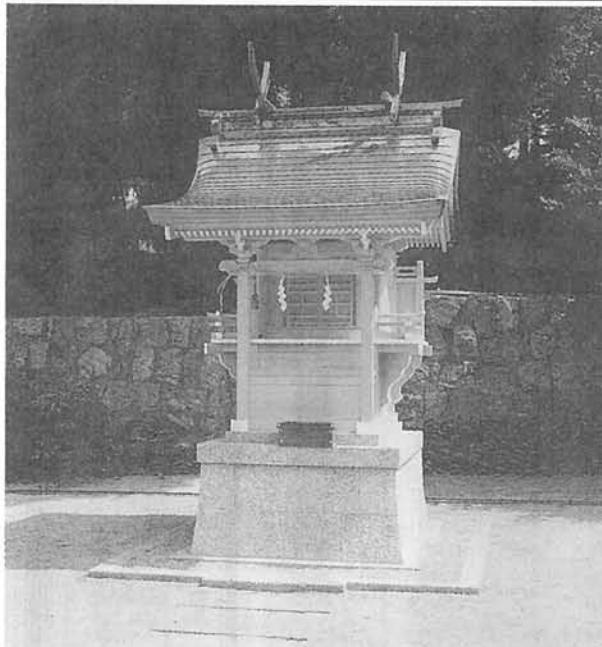
早島町前潟 国富常夫

また、入賞者は十二月十九日
神前で入選奉告祭に参列し、賞
状と記念品がそれぞれ手渡さ
れ、お互いの健闘を讃え合つ
た。

尚、今年も秋祭り「供膳祭」
(十月十四日土)・神幸祭(十月
十五日日)を題材として第二回
を開催致しますので、多数の応
募をお待ちしております。

発行所
鶴崎神社
早島町早島2220
〒701-0304
TEL 482-0097
E-mail
turusaki
@plum.ocn.ne.jp

昨年、秋祭り及び神幸祭を題材として「第一回鶴崎神社フォトコンテスト」を開催したところ、町内外から秀作多数の応募があり、審査の結果長い神幸祭行列を絶妙なアングルで迫力ある作品に仕上げた岡山市箕島の木村正志氏が見事大賞を獲得した。



鹿島神社が改築竣工

長年の風雨により屋根の破損及び全体の老朽化により懸案であつた鹿島神社の改築が総代会において決議され、去る四月二十九日夕刻に外遷座祭（御神体をお遷しする祭）を総代を始め宮崎地区の氏子参列の下、厳粛に執行し、御神体を鶴崎神社本殿に仮の御社として完成まで鎮座戴く事となつた。五月一日、二日解体工事及び整地工事を行い、改築の準備に入り、五月八日、九日と（有）坪井石材により、基礎工事及び台座工事が行われ、いよいよ五月十三日（有）井上社寺工業から、金色に輝く総檜造りの立派な社殿が搬入され、設置された。五月十四日夕刻正遷座祭が執り行われ檜も香しい本殿に御神体をお鎮まり戴いた。

今回改築した鹿島神社は、従来の社殿と比べると拝殿は併設しておらず、本殿

のみとなり規模も十分の一程度に縮小されたが、御堂形式（仏教様式）の建物から本来の神社様式である流れ造りの様式に変更し、施工者のご好意で垂木その他部分材を伊勢神宮御本殿の古材（木曾檜）を使用して頂いた。

これを契機に鹿島大神のご神威益々発揚され、氏子の皆様の心の拠り所として、末永くご鎮座されます事を願う次第である。

神棚のまつり方 その⑥

《神棚を拝する作法》

神拝の作法は、神社にお参りする時と同じです。二拝二拍手一拝というのが基本で、まず神前に進んで軽く頭を下げてから二拝（深くお辞儀をする）し、次に柏手を二度、次に一拝します。神前を退く時には、また軽く頭を下げます。

一家の主人がお供え物【米（洗米・生米）、塩、水】をした後におごそかに拝するのが良いでしょう。

お供え物は毎日新しい物に替えるのが良いのですが、日を決めて（例えば毎月一日や十五日等）お供えしても良いでしょう。

また、お正月、ご祝儀、七五三、誕生の時等には、米、塩、水の他に酒、餅、海菜、野菜、果物等を適宜お供えして家族全員揃つて、お参りします。特にお祝時は本人を中心として、お参りします。

伊勢神宮新穀感謝祭参拝旅行の御案内

日本国民が心の故郷として遠い昔から崇め奉り、親しんでまいりました伊勢神宮では、皇大神さまに稔りの新穀を捧げてお礼を申し上げるお祭が今年も執り行われますので、ご希望の方は申込金1万円を添えて10月25日までに社務所へお申込下さい。

1日目 岡山各地 === 各インター === 吹田 === 法隆寺IC === 斑鳩（昼食） === 檜原神宮参拝
関 === 伊勢IC === 鳥羽（泊）

2日目 ホテル === 伊勢神宮新穀感謝祭参列／外宮・内宮 === 二見ヶ浦／伊勢戦国時代村（昼食） ===
真珠工房見学 === 志摩／賢島（泊）

3日目 ホテル === 二見ヶ浦／夫婦岩 === 伊勢IC === 関 === 上野（昼食） === 天理IC ===
奈良／春日大社参拝 === 郡山IC === 吹田 === 各インター === 岡山各地

◎旅行日 平成12年11月28日(火)～30日(木) 2泊3日

◎費用 52,000円（小人48,000円）【申込金1万円、神宮献穀料5,000円、神宮記念品を含む】

◎企画 伊勢神宮崇敬会岡山県本部・岡山県神社庁

秋季大祭のご案内

来る10月14日（土）午前10時から恒例の秋季大祭（供膳祭）また15日（日）午前9時から神幸祭を執行致します。当社の最も盛大なお祭りですので、ご家族お揃いでお参り下さいまして、大神様のご神徳をお受け下さいますようご案内致します。



七五三は子供の無事な発育を喜び、な
お一層の成長を願つて、その年の子に晴
着を着せ女神さまに詣でる行事です。
古来は男女三歳で髪置きの祝い、男児
五歳で袴着の祝い、女児七歳で帯解きの
祝いを行つたことに由来します。
当社では十一月十五日を中心に七五三
祈祷を奉仕致します。平日に御祈祷希望
の方は都合のよい日を前もってご予約下
さい。

当社手水舎に大きな石の玉を掻んだ
龍の口（青銅製）がお目見えし、参拝
者の目を引いている。
龍は古来から雨や水の精として信仰
され来た想像上の動物であるが、水の
恵みを与えてくれる龍神様として、民
間信仰伝説に多くの習俗や口碑をとど
めている。

神社への参拝時には龍の口から流れ
る清水で手水をして清々しい気持ちで
参拝下さい。

七五三詣りのご案内**手水舎に龍の口がお目見え**

鶴崎神社

フォトコンテスト

(6)賞

◆大賞 一点 賞状 賞品
◆入選 数点 賞状 賞品

【応募上の注意】

二六〇年の伝統がある当社の秋祭り(供膳祭及び神幸祭)を題材として第二回フォトコンテストを今年も開催致しますので、左記により奮って応募して下さい。

また、大賞及び入選作品は元旦から神社拝殿に展示致します。

応募規定

①題材 十月十四日(土)午前十時か

ら執行する秋季大祭(供膳

祭)及び十五日(日)午前九時から執行する神幸祭の風景
②サイズ キャビネ版・スーパーワイド

③応募資格 特になし

④応募締切 平成十一年十月末日

⑤応募先 鶴崎神社

都窪郡早島町大字早島二二二〇

☎〇八六一四八二一〇〇九七

※応募は持参、郵送共可と致します

が、応募者の住所・氏名・電話番号
ご希望の方は前もつてご連絡下さい。

写真に添付して下さい。

諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により隨時ご奉仕致しております

- ◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・家内安全・当病平癒その他
- ◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭等

祭事暦

十月十四日(土)「午前十時」

秋季大祭【供膳祭】

十月十五日(日)「午前九時」

神幸祭

十一月中

七五三祈祷

十一月二十三日(木)「午後二時」

新穀感謝祭

一月二日(火)「午後二時」

年始祭

毎月一日「午前九時」月次祭

奉納品

左記の品々の奉納がありました。
奉納者の方に対しまして紙上をも
ちまして御礼申し上げます。

幣殿門帳(鶴崎)一垂 匿名
ベンチ(石製)一脚 有坪井石材

- ◇応募枚数に制限はありません。
- ◇入賞した作品についてはネガまたはポジを提出していただきます。
- ◇原則として応募作品は返却致しません。
- ◇応募写真の版権及び著作権は、主催者に帰属するものとします。